

廃棄物処理法以外の関連ルールを学ぶ オンラインセミナーシリーズ

事業者が不要物を廃棄する際には、個別リサイクル法をはじめ廃棄物処理法以外にも様々な規制の適用を受けます。このシリーズでは、普段廃棄物処理法の陰に隠れがちこれらの規制に焦点を当て、排出事業者が順守すべきルールを実務者目線で解説します。

セミナー概要

廃棄物処理法以外の 廃棄物管理ルールにフォーカス

本セミナーでは、個別リサイクル法をはじめ、フロン排出抑制法、PCB特措法など、廃棄物担当者が押さえるべき廃棄物処理法以外のルールを、網羅的に学ぶことができます。

職場や自宅から受講できる オンラインセミナー

オンラインでの動画配信のため、インターネット環境さえあれば、職場や自宅からセミナーを受講できます。また、チャット機能を使い、リアルタイムで質疑応答を行えます。

1回から受講可能

全5回のシリーズですが、興味のあるテーマの回1回のみ受講する、ということも可能です。

3回以上の同時申込で更にお得に

全5回のシリーズのうち3回以上受講した場合、1回あたりの受講料からセット割引をいたします。

講師紹介

子安 伸幸 (こやす のぶゆき) ・他

岐阜県出身。千葉大学工学部卒。株式会社ユニバース主任コンサルタントとして、同社の立ち上げを主導。セミナー講師やe-ラーニングへのコンテンツ提供など、年間3000人以上にプレゼンテーションを行い、環境意識を高めているほか、廃棄物削減やリスク管理などの戦略的な問題解決に定評がある。著書に「図解 産業廃棄物処理がわかる本」「トラブルを防ぐ産廃担当者の実務」(共に日本実業出版)、「産業廃棄物適正管理能力検定公式テキスト 第4版」(第一法規)ほか、主著・共著多数。



受講要項

名称	廃棄物処理法以外の関連ルールを学ぶオンラインセミナーシリーズ
日程	2020年7月～9月にかけて、全5回開催 (各回とも配信日を2日ずつ設けております。内容は同じですのでどちらかをお選びください。)
定員	各回定員40名
時間	各回 13:30～16:30 (3時間)
受講料	1回 12,000円(税別) / 1名
セット割引	3回以上の同時申し込みに関し、1回10,000円(税別) / 1名にてご受講いただけます。
申込締切	開催日の1週間前(各回定員に達した場合、早めに受け付けを終了する場合がございます。)
申込・詳細	当機構webサイト (https://cersi.jp/) をご覧ください。

本講座のガイダンス動画をご覧ください！

Youtubeにて本講座シリーズのガイダンス動画を公開しています。廃棄物処理法と関連規制の関係性などの解説もございますので、是非ご覧ください。



お申込み
お問合せ先



一般社団法人企業環境リスク解決機構 事務局 (担当：原)

TEL 03-6435-7747 URL <https://cersi.jp>

お申し込みは HP または FAX 申込票から！



第1回

8/4(火)6(木)

13:30-16:30

フロン排出抑制法とPCB廃棄物

フロン類、PCB(ポリ塩化ビフェニル)は、どちらも生産・使用が広がった後に有害性が明らかになった化学物質です。負の遺産とも言える有害物に対して、特別な処理のルールが構築されています。

フロン排出抑制法 今年4月の改正内容/「回収破壊法」から「排出抑制法」に変化した背景/該当する業務用機器の点検管理と廃棄方法/特定→代替→ノンフロンへの変化と対応

PCB廃棄物 計画処理完了期限/期限後の取扱い/建築物に付属する機器の責任/使用時・撤去保管時の対応/処理費用軽減のための選択肢/掘り起こしが求められる機器

第2回

8/18(火)20(木)

13:30-16:30

家電リサイクル法と小型家電リサイクル法

家電と小型家電、似ていますがそれぞれのリサイクル法の仕組みは全く違います。主に一般廃棄物となるものが制度のターゲットですが、産廃である場合はどのように取り扱うのが適法・最善かに着目して解説します。

家電リサイクル法 対象品目と処理のスキーム/不適正な管理への勧告事例/産廃である家電の取扱い/フロン排出抑制法との関係/廃棄物処理法のルールが適用される場面

小型家電リサイクル法 法の目的と役割/認定業者による認定の活用状況/産廃である小型家電の取扱い/有害使用済機器の規制との関係/今後の制度見直しの方向性

第3回

8/25(火)27(木)

13:30-16:30

容器包装リサイクル法と食品リサイクル法

食品関連の事業者は、この2つの法令どちらも対応しなければなりません。それぞれの目的は、一般ごみを減らそう、食品ロスを無くそう、と捉えると正しく理解できます。食品関連企業の環境担当者必見の内容です。

容器包装リサイクル法 今年7月からのレジ袋有料化の狙い/コロナ禍で増大した容器包装/リサイクル費用負担義務が忘れられる特定事業者/再商品化の動向と具体例

食品リサイクル法 食リ法上の「食品廃棄物等」の定義/食リ法による処理業許可の理解/定期報告が必要な食品関連事業者/業種別目標の達成度/食品ロス削減推進法との関係

第4回

9/1(火)3(木)

13:30-16:30

建設リサイクル法とアスベストを含む廃棄物

建リ法はリサイクル率向上を目指す「リサイクル法らしい」法令です。アスベストは、飛散・吸引による健康被害の防止対策が廃棄物処理においても必要です。建設関連企業だけでなく工事の発注側にも必見の内容です。

建設リサイクル法 対象となる工事と果たすべき義務/対象となるのかまぎらわしい事例の判断/対象未達の規模の物件の扱い/届出・契約・書面報告等の事務的対応

アスベストを含む廃棄物 廃棄物処理の観点での取り扱いを中心に/適正処理のための処理ルート/保管・運搬時の基準/含有の調査・調査結果の届出などの関連法令の規制強化の動き

第5回

9/8(火)10(木)

13:30-16:30

生産者責任と広域認定制度

メーカーは、製造工程から排出される廃棄物の適正処理を行うことはもちろん、販売した製品の処理まで一定の責任があります。その責任をどのように果たすかは、企業の環境対策のレベルを示すことにもなります。

生産者責任 ライフサイクル視点での拡大生産者責任/製品の廃棄物処理において果たすべき責任のパターン成功例と失敗例/「排出事業者は誰か」どこまで許容されるか

広域認定制度 広域認定制度の事例・実例/認定が認められる対象/本当に広域認定が必要か/再委託を前提にしていることで起きる不備/今後認定取得を考える方へ